



「少林寺拳法体験会」を開催します

今年度、新たな行事として「少林寺拳法体験会」を開催致します。これは、少林寺拳法を少しでも多く知っていただき、また、道院への入会へ繋がればと考えております。今後、道院掲示板へのポスター掲示とイ



2026.07.26 入門式(塩竈道院専有道場)で

Instagramを中心とするSNSで体験者を募集します。所属拳士の皆さんに於いても知人等へのお声掛けをお願い致します。

宮城県大会開催について

今年の宮城県大会は、「塩竈市体育館」に会場に会場が戻り、9月13日(日)10時開会となります。

塩竈道院・仙台杜都道院は、例年の通り「記録(集計)」が担当となりますので宜しくお願い致します。

大澤隆管長 縁起

極限状態で見出した人の可能性

8月になりました。先月末には本山開放行事を開催し、100名近い拳士、保護者、法縁関係者の皆様に本山へお越しいただきました。厳しい暑さの中ではありましたが、各地の道院で世代を越えて交流し、共に学び、笑顔で過ごす姿に、人と人とのつながりの大切さをあらためて感じました。

今月は、私たち日本人にとって、戦争の悲惨さと平和の尊さを心に刻む月です。今日の平和で豊かな暮らしは、戦争によって命を失った方々や、困難な時代を生き抜き、戦後の復興に力を尽くした方々の犠牲と努力の上に成り立っています。8月15日を

はじめ、それぞれの機会に手を合わせ、先人たちへの感謝と、二度と戦争を繰り返さないという思いを新たにしたいものです。

開祖は、戦前・戦中の極限状態における人間の姿を目の当たりにしました。社会を支えていた思想や制度が崩れ、人々が自らの利益や生存を優先するような状況において、開祖は次のように述べています。

「そのようなときにおいても、教養のためか、それとも修養の結果か、あるいは性格



2026.07.26 入門式での法話

今後の予定

- ◎ 8月11日(火) ～ 16日(日) お盆休み
- ◎ 8月22日(土)・29日(土) 少林寺拳法夏季体験会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 9月 6日(日) 特別稽古(塩竈道院専有道場)
- ◎ 9月13日(日) 宮城県大会(塩竈市体育館)

的なものなのかわからないけれども、自分の欲望を押さえることのできるのもいたし、なかには自分の犠牲において他のために役立つとするものもたしかにいた」

この「たしかにいた」という言葉には、人間に対する開祖の確信が込められています。どれほど困難な状況にあっても、自らの欲望を律し、他者を思いやり、誰かのために行動できる可能性が、人間には備わっているという確信です。そして、その可能性を引き出し、育てていくこそが、少林寺拳法による「人づくり」の原点なのだと思います。

平和は、遠いところにある理想ではありません。困っている人に寄り添うこと、見て見ぬふりをせず声をかけること、自分にできる範囲で力を貸すこと。そのような小さな行いの積み重ねによって信頼関係が生まれ、人と人が助け合える社会がつくられていきます。

私たちは日々の修行を通して、自らを律



する力と、他者のために行動する勇気を養っています。一人ひとりが、開祖の見いだした「たしかにいた」人となり、自分の周りに助け合いと信頼の輪を広げていきましよう。その積み重ねが、家庭を和やかにし、地域を安心できるものとし、平和で豊かな社会を実現する確かな力となります。

猛暑厳しき折、熱中症には十分注意し、休養と水分補給を心がけながら、今月も身心を整え、修練に励んでまいりましょう。

中国古典 紹介

さいしやう さいじ した
宰相は細事に親しまず

『漢書』

宰相とは文武百官のトップで、皇帝を補佐する最高の責任者であった。そういう立場にある者は、「細事」つまりこまごました業務はすべて部下に任せて、自分は大所高所からにらみをきかせていればそれでよいという考え方である。これもまたリーダーの理想のあり方を語ったことばに他ならない。

漢代の丙吉(へいきち)という宰相が、車で都大路を

巡回中、とある街角で乱闘事件にぶつかった。死者まで出るという騒ぎであったが、丙吉は目をくれないで通り過ぎる。あとでお供の書記官がわけをたずねたところ、「事

件の取締りは警視總監の職責である。宰相は細事には親しまぬものじゃ」と語ったという。

中小企業のような小さな組織では、なかなかこうはいかないであろう。だが、トップみずから、細かな仕事にまで首を突っ込んでいたのでは、体が幾つあっても足りない。できれば「細事に親しまず」をめざしたい。

2026.07.15 古澤和夫拳士の89歳誕生祝で

